胆振支部・産業動物（馬）講習会の開催報告

令和 8 年 10 月 7 日、苫小牧市日胆農業会館において、胆振獣医師会主催、北海道家畜畜産物衛生指導協会、全国公営競馬獣医師協会後援による令和 8 年度産業動物（馬）講習会が開催されました。講習会のテーマは「馬の循環器」で、内容は以下の通りでした。

① 「Segmental approach で挑む先天性心疾患の系統診断」
北海道大学大学院医学研究院　　武田　充人　先生

② 「サラブレッドの運動能力、心臓の役割と不整脈」
公益社団法人　日本装削蹄協会　　大村　一　先生

③ 「心房細動に対する新しいキニジン投与法」
JRA 競走馬総合研究所　　黒田　泰輔　先生

④ 「馬の循環器診療の現在―最新研究から牧場での実践まで―」
社台ホースクリニック　　鈴木　吏　先生



写真：80 名を超える参加者

武田先生の講演内容は、医学部学生に行う講義と同じ内容とのことで、ついていくのに必死でしたが、おおきな刺激を与えてくれる素晴らしい講演でした。

現役の馬臨床獣医である大村先生、黒田先生、鈴木先生の講演では、正常な心臓の機能、不整脈治療の最新知見等、盛りだくさんの内容となり、参加された皆さんの理解が深まったことと思います。総合討論では活発な質疑応答がなされました。



写真：講師陣との質疑応答

武田先生、黒田先生、鈴木先生の講演動画は、下記リンクより申し込みすると視聴可能です。

お忙しい中ご参加いただいた皆様、ご協力いただきました皆様に感謝いたします。来年も多くの方々に興味を持っていただく内容を企画いたしますので、よろしくお願いいたします。

視聴申し込み URL：https://forms.gle/rZZRSvB8SyBBvt6m6

（胆振支部　馬部会長　加藤史樹　記）